



川越ロータリークラブ 会報

No.45

世界に希望を生み出そう

2024年6月4日 第3480回例会 会場：川越プリンスホテル5階

会員数：102名 免除出席者：1名 正会員出席者：53名 出席者：54名 早退：1名 出席率：54%

プログラム

点鐘（12：30）／国家：君が代、ロータリー
ソング（第1例会：奉仕の理想）／ビジター・
お客様紹介／卓話講師紹介／会長の時間／
幹事報告／委員長報告／ニコニコボックス
／出席報告／卓話／点鐘（13：30）〈司会：
小林SAA〉

《卓話講師紹介》

森下 みゆ様 西川（株）ソリューション推進部
日本睡眠科学研究所認定スリープマスター
加藤 穰（かとう みのる）様 西川（株）
エリア戦略事業部 百貨店業態統括部長

会長の時間



2023-24年度 会長 坂口 孝

- 理事会報告：・新会員推薦1名
・台湾東部地震支援金について
台北西北 RC を通じて支援金
25万円を送金する
・25日の最終例会はアトラク

ションあり、ご家族会費5千円お子様3千円

ロータリーは古い歴史があり、第二次世界大戦
のときには一旦解散させられる目にあいました。
一旦解散はしましたが、その例会を開かれている
曜日で、川越であれば火曜会、東京ロータリーで
あれば水曜会という名前で開会をしていました。
警察が英語を使ってはいけないという時代があ
り、ロータリーはアメリカから発祥したもの、ふ
ざけるなどこれもロータリーの流れじゃないかと
ずいぶん締め付けられたようです。苦肉の策で考
えられたのが国歌を歌って、「これはアメリカと
は関係ないので、国家のために歌っているのだ
す」ということで勘弁していただきながら現在に
至っている。また戦争が終わった後は、国際ロー
タリーに復帰して現在はこれに至っている。

最近では次年度ガバナー補佐として、第1グルー

プの各クラブへ顔を出しております。昨日も例会
に出席し、川越の感覚で「この日はこう、この日は
こう予定入れておいてください」というと、最近、
例会を2回しかやっていない。今週だめで、来週も
違います、いつといつですとランダムで、訪問の日
程を組むことが非常に困難になっている。国際ロー
タリーでは、日時は決めておくとなっておりますが、
あるクラブは今週水曜日、来週は木曜日、と
非常に予定を組みにくく悩んでいる。ほかのクラ
ブへ行くともわかりますが、うちのように大きなクラ
ブはございません。ただ、それぞれが本当にきち
っと例会を開いており、その会長の時間にはほと
んどのところはロータリーの話をしている。昨日
は夜間の川越中央 RC を訪問、噂には聞いていた
のですが高齢化が進んでいる。非常にきちっと例
会を開催していますが、やはり会員増強には非常
に苦労しているようです。僕が入ったところは、ロー
タリーに入れさせていただくことが誇り、選ばれ
た人という感覚があったのが、最近では誰でも入
れるような、審査が厳しくなくなってきたとい
うのが実情です。若い方が多いところは例会の
内容もゆるく変わってきている。それが良いのか
悪いのかはわたくしにはわかりませんが、皆様の
考えはどうでしょうか。今後、川越ロータリーをど
のような形にしていくのか、やはりこれは皆さま
で見つめなおしていただくことが必要なのかと思
います。あまり変わってもいけない、しかし変わら
なくてもいけないというのがロータリーなのか。
次年度のアーチック RI 会長は、今までは上から目
線で「これやれ、あれやれ」と言っていたのが、今
後の時代はボトムアップなので、クラブが主体で
そのクラブに合わせた活動をして頂きたいとのこ
と。僕が入ったところからすると真逆のような感じ
で五大奉仕の概念がほとんどなくなっている。管
理運営面での五大奉仕はなくなり、逆に概念だけ
で、それを頭に入れながら活動してくださいと。管

理運営はまた別の枠組みになっている。次年度は3イヤーターゲットができ、行動計画の推進役を指定することに。さらにRIは地区、地域においてもアクションプランチャンピオンを指定してください、チャンピオンは推進役、推進者という意味があり、行動計画を設定して、それをクラブの中に浸透させてくれというのが役割です。

幹事報告

2023-24年度 幹事 栗原 雄一

- ・6月ロータリーレート1\$=157円
- ・埼玉県より交通死亡事故多発警報・配布 会報

委員長報告

- ・米山記念奨学委員会 6/2 総会報告

ニコニコボックス

●本日の卓話担当神谷勉会員、西川(株)ソリューション推進部森下みゆ様、西川(株)エリア戦略事業部百貨店業態統括部長加藤穰様、本日は宜しくお願ひします。睡眠について楽しみです。<会長、幹事>
●相原 PG は、地区の活動にリーダーとして活躍しています。ありがとうございます。<立原 PG>
●坂口会長、あと少し、3回の例会頑張ってやって下さい。<立原 PG>●本日卓話を担当させていただきます。よろしくお願ひします。<神谷>●神谷会員、西川(株)森下みゆ様、加藤穰様本日の卓話よろしくお願ひ致します。「眠りについて」のお話、楽しく聞かせて頂きます。<小橋、西澤、小杉、和田(尚)、近藤、栗林、馬場(弘)、吉澤、石井、山田(哲)、住谷、島村、中野(文)、戸口、鈴木(壮)、久保田、柏倉、西川、齊藤(智)、水村、馬場(常)、鬼頭、金剛、丸山、小高、上原、小川、立原、山崎>●先週に引き続き仕事の都合で欠席させていただきます。<和田(喜)>●早退1名
(敬称略) 合計39,000円

卓話(神谷 勉会員よりご紹介)

○卓話講師：森下 みゆ氏

本日は、睡眠を切り口とした健康経営施策の背景からご紹介させていただければと思います。まず、健康経営施策とはいったい何なのか。健康経営とは従業員などの健康管理を経営的な視線で考える、戦略的に実践することといわれている。つまり、精神的な理由や、その他体調面の



課題で心身の健康状態が悪く、お休みしてしまう状態の社員、休んではいけないものの元気がなく、活力が低下してぼーっとしていることが多い状態、いわゆる100%のパフォーマンスが出せていない状態にある社員。健康経営というのはこのような状態の社員を減らすために健康増進するための投資をしていく取り組みになっています。このような取り組みによって、社員一人ひとりの生産性をあげ、組織の活性化をもたらす結果的に業績向上、株価向上が期待できることが健康経営になっております。健康経営という取り組みは国も推奨しており、“健康経営優良法人”という認定制度があり、企業がどのくらい従業員の健康経営に対する取り組みを実行しているのか、またその結果がでているのかを年1度チェックして基準を満たした企業が“健康経営優良法人”という認定がもらえるという仕組みです。さらには、特出して取り組みを強化している上位500企業をホワイト500と認定マークがついたり、ブライト500と選定表彰をしたり、さらに特出した企業は“健康経営銘柄”という銘柄までももらえるような表彰制度もあり全国に広まっている。“健康経営優良法人”に認定されると、例えば就職活動中の学生、転職活動中の人材に企業が安心感をあたえる銘柄にもなり、取引先の関係企業や金融機関などからも社会的評価が受けられる、標準化ラベルとして取得しようとする企業が増えています。

西川はこのような健康経営の施策と一環となるような施策として睡眠をテーマに従業員の睡眠改善サービスの開発に近年力を入れています。まず初めに、なぜ健康経営を進めるうえで睡眠が重要になってくるのか。ポイントは2つ、睡眠を改善することで従業員の健康リスクの低下が期待できる、もう一つは生産性が高まることが期待できる。

西川の具体的なサービス紹介ですが、睡眠を改善するためのポイントは人によってバラバラで、一人ひとりの行動変容をうながすことが重要であると考えています。そのために西川では、睡眠の気づきを与える、正しい睡眠知識を高めるというこの2つの取り組みに力を入れて展開しております。具体的に、気づきというのは睡眠実態調査という睡眠の質問票を用いて眠れているのか、生活習慣が睡眠に悪い影響を与えていないかなどをチェックしてフィードバックするような質問表サービスを展開しています。睡眠知識を高める、“睡眠セミナー”を展開している。